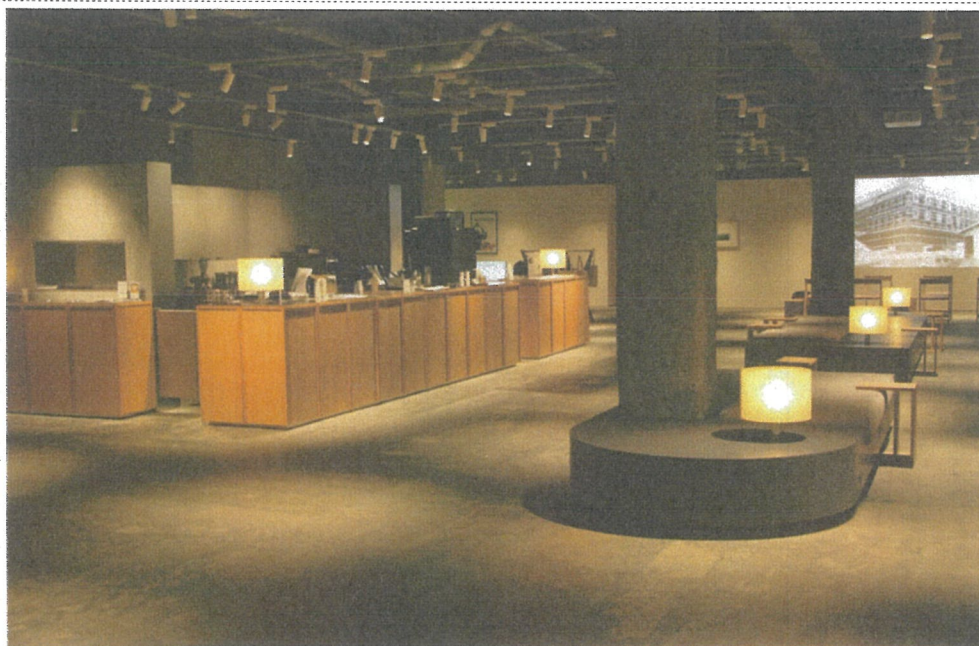




Journal

第16号
2026(R8)年9月18日
山形県立寒河江高等学校
新聞部



寒河江の未来を拓く

新たな百貨店

今年5月、フロア・SAGA Eの2階に寒河江百貨店がオープンした。2月に発行した長陵タイムズでは改修工事の状況などを取り上げたが、今回はオープンしてから現在までの活動を探るべく寒河江市役所商工推進課の川野博己さんに話を伺った。寒河江百貨店の取り組みを知り、寒河江市の新たな魅力を発見しよう。

落ち着いた雰囲気が漂う寒河江百貨店

新しくなってきたから、客層は

今まであまり訪れなかつた人が来てくれるようになった。主に若い人や女性が多くなり、仙台や東京などの県外からの来客もあつた。またフロアの来客数自体も増えており、今年の5月から7月はいずれの月も前年より来客数が増加している。寒高生も夕方や長期休暇に勉強にきている。

展示品はどのようなものか

「寒河江百貨店」だから100の品を展示している。展示されている作品をつつたアーティストを呼んでイベントも実際に開催した。

作品は何か売れており、県外から来て購入した人もいます。展示品は値段が高めなので主に購入する層として狙っているのは富裕層。

作品を購入する人の中にはフロアの改修にコゼプターとして携わり、「森岡書店」を銀座で営業する森岡督行さんのファンもいます。

◇販売している品
ブランドものからフープランドのTシャツやジーンズ、ジャケットなどの古着からフランス製の皿などのアンティーク品など。既に売却済みだが一枚のトランプが販売されていたこともあつた。

◇展示のみの品
古い木製の脚立、時代を感じる天秤などがある。作品を置いているテーブルまでも福岡県の杉工場が製造したものを使っている。古着は若い人でも手が出しやすいようほぼ仕入れ値となっているそう。

有名になった経緯は寒河江百貨店公式インスタグラムで情報を発信したり、銀座の無印良品でイベントを行ったりした。また、ファンが多い森岡さんも情報を発信することで多くの人の目に留まり、来てくれる人が増えている。さらに有名な雑誌でも取り上げられたりした。



インタビューに答える川野博己さん

のでその効果もあると思う。

どんなイベントが開催されるのか

月に一度有名なアーティストのイベントを行っている。AIセミナーなども開催していた。過去には大学の教授と市内外から80名ほどが参加し今後の寒河江についてという議題でディスカッションをした。中には寒河江高校の生徒や、伊藤久敏校長先生もいた。これからは高

校生と芸工大、公益文科大などの大学生が一緒に何かができたらいいと考えている。特にまちづくり、寒河江の将来を考えることに興味がある人はぜひ寒河江百貨店のイベントに参加してほしい。

寒高生へのメッセージ
フロアを利用する多

く寒高生は4階のスペースで勉強しているが、落ち着いた雰囲気がある。落ち着いて勉強したいと思う人はぜひ寒河江百貨店のスペースがていいと思う。Wi-Fiも完備されており、デスクワークや休憩で気軽に足を運んでほしい。少し値段は高いがカフェに比べたところでは、落ち着いた雰囲気から「ちょっと立ち寄つてみよう」と思える気軽さがある。このように地域と密接な関係を築いているのが寒河江百貨店の最大の特徴だ。

この記事を読んで寒河江百貨店をもっと知りたいと思ったら、ぜひ足を運んでほしい。開催されるイベントのスケジュールなどの情報は左の寒河江百貨店公式インスタグラムのQRコードを読み取り、目で見ることもできる。また行ったことのない人はぜひ一度、訪れてみてはどうだろうか。



@SAGAE_100